

一般不妊治療費補助申請はお早めに!

令和元年度分(平成31年3月から令和2年2月までの診療分が対象)の一般不妊治療費補助制度の申請期限については、**令和2年3月25日(水)まで**となります。期限を過ぎると申請できませんのでご注意ください。

期限が近づくとつれて窓口が混雑しますので、お早めに申請してください。

不妊治療費補助制度

市では、不妊症でお悩みのご夫婦を対象に不妊治療費の補助制度を実施しています。この制度は、不妊治療によるご夫婦の経済的負担を軽減するとともに、少子化対策の一環として、不妊治療費の一部を補助するもので、不妊治療の内容によって、「一般不妊治療費」と「特定不妊治療費」の補助制度があります。

申請書は、保健センターで手続き方法を説明してお渡ししています。また、市ウェブサイトにも掲載しています。詳しくは保健センターへお問い合わせください。

一般不妊治療費補助制度 ID 1012585

- 対象者** (年齢条件)申請する治療の開始日時点で、妻の年齢が43歳未満であること(その他の条件)以下のすべてに該当する場合に対象者となります。
- ・不妊症と診断された法律上の夫婦であること
 - ・夫妻ともに、またはどちらか一方が一宮市に住民登録があること
 - ・夫と妻の前年の所得(1月から5月までに申請する場合は、前々年の所得)の合計額が730万円未満であること

対象治療 産科・婦人科・産婦人科・泌尿器科・皮膚泌尿器科で受けた保険適用外の **人工授精**

補助額 自己負担額(医療保険治療費を除く)の1/2(1年度当たり上限4万5千円)
※申請した治療開始月から2年間、補助を受けることができます。

申請期限 令和2年3月25日(水)まで(平成31年3月から令和2年2月までの診療分)

特定不妊治療費補助制度 ID 1012659

- 対象者** 以下のすべてに該当する場合に対象者となります。
- ・愛知県の特定不妊治療費助成金の交付を受けたものであること
 - ・夫妻ともに、またはどちらか一方が一宮市に住民登録があること
 - ・夫と妻の前年の所得(1月から5月までに申請する場合は、前々年の所得)の合計額が730万円未満であること

対象治療 指定医療機関で受けた保険適用外の **体外受精・顕微授精** ※男性不妊治療費を除く。

補助額 自己負担額から愛知県特定不妊治療費助成金交付額を控除した額
※申請できる回数は通算2回
※申請ごとの上限金額は10万円
ただし上限金額に満たない場合でも、次回に繰り越すことはできません。

申請期限 愛知県の **特定不妊治療費助成事業承認決定通知書の通知日から2か月以内**

お問い合わせは

中保健センター ☎72-1121

西保健センター ☎63-4833

北保健センター ☎86-1611